

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:2023年 11月 27日

事業所名: 放課後等デイサービス
えーるきた事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
環境・ 体制 整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	4	0	0	プレイルーム、SST用の個室、サブ ルームに分室し、利用目的によって 使い分けている。	24	4	0	0		引き続き分室しながら活動していく。
	2 職員の適切な配置	4	0	0	人員を確保して玄関に勤務体系表を 掲示している。	22	2	0	4	職員の人数や利用者に対して、 何人いるのか分かっていない。	引き続き人員を確保し、勤務体系表 を分かりやすい場所に掲示していく。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー 化、情報伝達等に配慮した環境など障が いの特性に応じた設備整備	3	1	0	段差等できる限り考慮しているが、 構造上バリアフリーが難しい場所も ある。スケジュール等は視覚化した ツールを使用している。	22	4	0	2		玄関の上り口、トイレ、階段には手す りをつけている。玄関の段差は解消 が難しいので、個別対応をしている。 又、危ない所は見えて分かりやすいよ うに表示する等工夫をしていく。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動 に合わせた生活空間の確保	/	/	/	朝夕、決まった時間に清掃をしてい る。消毒は定期的に行っている。又、 畳は過ごしやすいようにフローリング に変えた。	27	1	0	0		決まった清掃、消毒等を引き続き 行っていく。
業務 改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル (目標設定と振り返り)への職員の積極 的な参画	3	1	0	職員間で問題等を共有して対策を考 え、実行し、振り返っている。ヒヤリ ハットにも同様の流れを取り入れて いる。又、スタッフの個人目標におい ては年度毎に振り返る機会を設けて いる。	/	/	/	/		引き続き、定期的に行っていく。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改 善の実施	/	/	/		/	/	/	/		
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会 の確保	4	0	0	定期的に研修の機会を設けている。	/	/	/	/		引き続き、研修を行いスキルアップを 図っていく。
適切 な支 援の 提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上 での児童発達支援計画又は放課後等デ イサービス計画の作成	4	0	0	契約時にアセスメントを行い、支援計 画を作成し、支援内容を記載してい る。計画作成後もモニタリングや支援 会議等の内容を確認したり、必要時 には相談を行って計画の作成や見 直しを行っている。	26	1	0	1		引き続きアセスメント表等を使用しな がら必要事項を確認し、支援計画に 反映させていく。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デ イサービス計画における子どもの支援に必要な 項目の設定及び具体的な支援内容の記載	/	/	/		26	2	0	0		引き続き、支援計画の見直しの時期 に達成度の確認や支援目標を確認 し、共有していく。
	3 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活 動を適宜組み合わせた児童発達支援又は 放課後等デイサービス計画の作成	4	0	0	個別活動(個別SST、特化プログラ ム、余暇時間での個別の遊び等)と 集団活動(クラブ、遊び、イベント、就 労訓練)を組み合わせ活動してい る。イベント等ではミニゲームの中 に一緒に協力する遊び等も取り入れ ている。	/	/	/	/		引き続き個別活動と集団活動を組み 合わせて活動し、連絡ノート等で保 護者様との共有していく。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標		
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
適切な支援の提供 (続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	/	/	/	計画に沿った活動目標を立て、スタッフ間で共有し実施している。	27	0	0	1	その日に行った支援内容について連絡ノートやモニタリング等で伝えていく。	
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	4	0	0	ワーク、クラブ、遊び、SST、特化プログラム、就労訓練、イベント等の立案を分担したり、スタッフ同士で相談したりしながら行っている。そのほか、おでかけや休日の遊びなども行っている。	/	/	/	/	引き続き行っていく。	
	6	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	4	0	0	上記以外には、長期休暇に買い物体験をして、注文や支払いの練習を行い、生活面における様々な練習等を取り入れている。	24	1	0	3	土曜日だけの利用なので平日の事は分からない。	引き続き、連絡ノートやモニタリングなどで活動内容を伝えていく。
	7	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	4	0	0	上記以外には、長期休暇に買い物体験をして、注文や支払いの練習を行い、生活面における様々な練習等を取り入れている。	/	/	/	/	引き続き、連絡ノートやモニタリングなどで活動内容を伝えていく。	
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	4	0	0	朝礼にて役割分担や子供の様子を共有、確認している。	/	/	/	/	引き続き行っていく。	
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	4	0	0	その日の気になる事は日誌、ケースノートに記入し、共有、振り返りを行っている。	/	/	/	/	引き続き行っていく。	
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	4	0	0	個別活動記録、日誌、ケースノート、その他の活動(SST、特化プログラム、就労訓練)の記録、連絡ノートの記入を行っている。又、モニタリング、相談、支援会議等は記録をし、スタッフ間で内容の共有を行っている。	/	/	/	/	引き続き行っていく。	
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	4	0	0	定期的なモニタリングを行い、計画作成している。見直しは期間を定めて行っている。	/	/	/	/	引き続き行っていく。	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	4	0	0	担当者が様子をまとめたり、スタッフ間で話し合ったりして、共通認識をもって参画している。	/	/	/	/	引き続き行っていく。	
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	/	/	/		/	/	/	/		

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
関係機関との連携(続き)	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	4 児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	4	0	0	サポートファイルを使用したり、保護者様へのアセスメントで聞き取り、確認をして情報共有している。	/	/	/	/	/	引き続き行っていく。
	5 他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	4	0	0	移行前に当事業所での様子や、得意な事や苦手な事、支援の仕方等を引き継ぎの会議に参加し、伝えている。	/	/	/	/	/	引き続き行っていく。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	4	0	0	オンラインでの研修に参加したり、支援会議や子ども部会等で連携をとっている。	/	/	/	/	/	引き続き行っていく。
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供	0	1	3	コロナ禍以降は難しくなっている。今後は児童館の利用等を検討し、色んな子供と活動する機会を持っていく。	4	6	4	14	コロナ禍で児童館など人の多い場所は控えてくれていたもので、障がいのない子供と活動する機会がなかったと思う。	児童館や公園などでいるんな子供と活動する機会を持てるようにしていく。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	2	2	0	地域の方にイベント時にボランティアをしてもらった事があるが、コロナ等の影響で難しい場合もあった。	/	/	/	/	/	ボランティアとして地域の方々関わったり、おでかけや買い物等で地域に出たりする会を持てるようにしていく。
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	4	0	0	契約時にアセスメントを行い、本人や家族の意向を確認して支援内容を決定している。利用者負担等については、重要事項説明時に伝えている。変更があれば、そのつど機関紙で伝えている。問い合わせがある場合はそのつど確認し伝えている。	27	1	0	0	/	引き続き、契約時や必要に応じて伝えていく。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	/	/	/	支援計画について個別に説明し、了承を頂いている。不明な点等は問い合わせ頂くよう声かけをしている。	26	2	0	0	/	引き続き、対面にて説明を行っていく。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	3	1	0	今年はペアレントトレーニングは行わなかったが、保護者様と遊戯療育に関する勉強会を行った。	17	4	0	7	/	勉強会を企画し、案内したり個々に内容が合うものをお誘いしたりしていく。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標			
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見		
保護者への説明責任・連携支援（続き）	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	4	0	0	連絡ノートや送迎時に様子を伝えていく。必要に応じて電話等で様子を伝え、共通理解を図っている。	28	0	0	0		引き続き行っていく。又、送迎時に声をかけるなどして、必要な場合は相談の場を設けていく。	
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	4	0	0	利用が少ない児童の保護者様に近況を確認し、必要な場合は相談の場を持つようにしている。	24	3	0	1		送迎時など、保護者様と対面する時に声をかけるようにし、相談しやすい状況を作っていく。	
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	3	1	0	定期的に保護者様お茶会を行っている。今年はコロナ等の影響で頻度は減っている。	20	2	0	5	保護者との交流ができるお茶会が楽しみです。とても良い機会となっています。 回答なし	引き続きお茶会を行っていく。勉強会なども取り入れ、いろんな保護者様が参加しやすいように工夫していく。	
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	4	0	0	スタッフ間で苦情があった場合の体制を周知している。保護者様には契約時に説明をしている。	21	1	0	5	苦情を言ったことがない。 回答なし	引き続き契約時に説明を行い、機関紙などで伝えていく。又、苦情受付ボックスを分かりやすいようにしていく。	
	8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	4	0	0	伝わりにくい時は個別対応をしたり、視覚的に伝えたりしている。保護者様には必要に応じて個別に声をかけたり、説明をしたりしている。	26	1	0	0	回答なし	支援内容を連絡ノートや対面などで伝えていく。	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	4	0	0	季節毎に機関紙を発行している。活動概要や行事予定は毎月お知らせをしている。必要な時は個別に伝えていく。	24	1	0	2	回答なし	引き続き行っていく。	
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	4	0	0	スタッフは入社時に個人情報取り扱いに関する誓約書を書いている。又、定期的に研修を受けている。保護者様には契約時に個人情報に関する同意書及び契約書にて説明し、同意を頂いている。	26	0	0	1	回答なし	スタッフは引き続き研修を行い、保護者様には契約時に説明をしていく。	
	非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	4	0	0	各マニュアルはスタッフ間で周知し、保管場所も共有している。マニュアルに基づいて月に1回避難訓練を行っている。	22	3	0	2	プリントでお知らせをもらうので分かりやすい。 回答なし	定期的に機関紙等でお知らせしていく。避難場所については、引き続き契約時にお伝えしていく。
		2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	4	0	0	毎月25日と定めて避難訓練を行い、記録をしてスタッフ間で振り返っている。	25	1	0	1	毎月1回行ってきていて、ありがたいです。 回答なし	どのような訓練をしたのか、連絡ノートで伝えていく。保護者様への引き渡し訓練も行っていく。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
非常時等の 対応 (続き)	3 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	4	0	0	年に1回以上研修を行っている。又、虐待防止委員会を設置している。全スタッフが月に1回虐待防止に関するチェックリストを使って、自分が行った支援を振り返るようにしている。						引き続き振り返りながら不適切ケアがないよう気をつけながら支援を行っていく。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・理解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	4	0	0	契約時に保護者様には説明し、同意を頂いている。やむを得ず行う場合はカンファレンスを行っている。又、身体拘束に関する委員会を設置し、いろんなケースの検討を行っている。						引き続き行っていく。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	4	0	0	契約時のアセスメントで必ず確認し、スタッフ間で周知して対応している。						引き続き行っていく。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	3	1	0	事業所内で共有し、再発防止についての対策を話し合い、報告書を作成している。又、事業所間でもそれを共有している。						必ず共有できるよう定期的にヒヤリハットについて話し合う時間を設けていく。